

令和5年2月17日

松田町長 本山博幸様

松田町総合計画審議会  
会長 古館信生

**松田町第6次総合計画 基本計画見直し及び後期  
まちづくりアクションプログラム策定について（答申）**

令和4年11月16日付け松第1364号で諮問のありました標記のことについては、当審議会において慎重に審議を重ねた結果、その内容は妥当なものと認める。

今後は、基本構想で掲げる「いのち“育み”未来へ“ツナグ”進化“つづける”故郷」を実現するために、戦略的に取り組むべき課題である3つのまちづくりテーマ、更に6つの施策大綱を効果的かつ着実に推進されることを強く希望する。

特に、チルドレンファーストのまちづくりを推進するにあたって、「まつだ子どもカフェ」などによる子どもたちの意見を反映できるようなまちづくりを進められたい。

なお、本計画を運用するにあたっては、PDCAサイクルによる進捗管理を着実に遂行し、町民に情報提供することが必要である。

記

**1 健康・福祉について**

チルドレンファーストのまちづくりを推進するにあたって、「子育て世帯への意見募集」で提案された子育てしやすいまちづくりに積極的に取り組まれたい。また、高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちづくりに尽力されたい。

**2 教育・文化について**

アンケート調査で30歳代の住みにくい理由としてあげられる「子育て環境・教育環境」について、教育施設の改修や子どもの通学時の安全対策に積極的に取り組まれたい。また、中学校や高校と

連携し、ボルダリング等の施設の活用やスポーツ選手が育つような基盤づくりに取り組まれない。

### 3 経済・産業について

アンケート調査において町民ニーズの高かった「買い物の利便性」や「働く場所の確保」は、人口の確保対策においても重要な課題である。商業施設や企業誘致だけではなく、インターネットや新技術を活用した買い物弱者対策などにも積極的に取り組まれない。

また、「まつだ子どもカフェ」で提案された地域資源を活用した観光振興やSNSを活用した情報発信などにも積極的に取り組まれない。

### 4 暮らし・基盤について

人口減少や少子高齢化といった課題に対して、全国的に減少傾向にある中で、いかにそれを抑えるか、確保するかということが重要である。特に空き家対策や高齢者等の移動手段の確保により、移住・定住促進につなげられたい。

また、アンケート調査で最重要課題としてあげられる「新松田駅・松田駅周辺の整備」についても引き続き優先的に取り組むとともに、取組の進捗状況について町民に対して効果的に情報発信されたい。

### 5 自然・環境について

本町の豊かな自然環境を活かしながら、アンケート調査で必要度が高い「防災対策」や「防犯対策」による安全安心のまちづくりが必要である。特に、幼稚園バスの安全対策など子どもたちの安全確保に尽力されたい。

また、「まつだ子どもカフェ」で提案された公園の使い方や子ども目線での既存施設の活用にも積極的に取り組まれない。

### 6 実現手段について

コロナ禍において、関係団体のまちづくり活動が自粛されるなか、松田町自治基本条例に基づく「協働・連携協力」の理念のもと、活動しやすい仕組みづくりなどにより、「オール松田で協働のまちづくり」に取り組まれない。

また、人口減少下における持続可能な行政運営に向けて、健全な財政運営に取り組まれない。

以上